

国語科『国語応用』シラバス

北海道常呂高等学校

学年	3	単位数	2	授業形態	一斉
教科書 (出版社)	なし		副教材等 (出版社)	なし	
学習目標	○1年次の現代の国語、言語文化、2年時の国語表現で学習した内容を総合的かつ発展的に扱うとともに、現代文と古文を横断的に学習することで、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付け、我が国の言語文化への理解を深めることを目標とします。				
学習方法	○(知識等の)吸収→思考→表現のサイクルを毎時間、毎単元で意識しよう。 ○目の前の物事に興味を持ち、「なぜ？」と疑問を持つ力を付けよう。 ○自分にとってベストな勉強方法を自分自身で見つけよう。 ○自分の理解度を客観的に評価し、予習や復習などを自主的に行おう。				
学習評価	評価の観点		評価の観点の趣旨		
	ア	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		
	イ	話すこと 聞くこと	目的や場に応じて、話題、内容、構成等を工夫して自分の考えを伝えるとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりする。		
		書くこと	伝えたいことを明確にし、的確に伝えるために文章の構成や展開、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫して書く。		
	ウ	読むこと	叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。		
エ	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けようとしている。			
評価方法	①	②	③	④	⑤
観点	単元考査・実力考査	発表・発言	授業の取組	ノートやワークシート	作成物
ア	○	○	○	○	
イ		○	○	○	
ウ		○	○	○	○
エ	○	○	○	○	○
オ		○	○	○	○

学習計画

学期	編・章	単元	学習内容	評価の観点					評価規準	評価方法
				ア	イ	ウ	エ	オ		
前期中間	現代文	随想 大江健三郎 向田邦子 ほか	1 随想の特色や読み方を学び、叙述に即して読み味わう。	○			○	○	・随想の特色や読み方を学び、叙述に即して読み味わっている。	①② ③④
			2 いくつかの随想を読み比べた後に、各自1作品を選び、その作品についての情報や自らの感想・評価等を資料にまとめ、スピーチ発表を行う。	○	○			○	・作品についての情報や自らの感想・評価等を資料にまとめることができる。	③④ ⑤
				○	○			○	・資料や機器を効果的に用いて、自分の考えを話すことができる。	②

前期期末	古文	随筆 『枕草子』 『徒然草』 『方丈記』 ほか	1 三大随筆の文学史的意義を理解し、各随筆の特色をおさえる。	○				○	・ 三大随筆の文学史的意義や各随筆の特色を理解している。	① ② ③ ④
			2 現代の我々との共通点、相違点を考えながら内容を読み取り、思いや考えを深める。	○			○	○	・ 現代の我々との共通点、相違点を考えながら内容を読み取り、思いや考えを深めている。	① ② ③ ④
	現代文	評論 高階秀爾 長谷川權 ほか	1 西洋と日本の比較を用いて書かれている文章を読み、筆者の主張をとらえる。	○			○	○	・ 西洋と日本の比較を用いて書かれている文章を読み、筆者の主張をとらえることができる。	① ② ③ ④
			2 同様のテーマ、形式の文章を読み比べ、共通点をとらえながら日本文化の特徴についてまとめる。	○			○	○	・ 同様のテーマ、形式の文章を読み比べ、共通点をとらえながら日本文化の特徴についてまとめることができる。	② ③ ④
			3 西洋と日本の比較について課題を設定し、調査・まとめを行いレポートを作成する。	○		○		○	・ 西洋と日本の比較について課題を設定し、調査・まとめを行いレポートを作成することができる。	③ ④ ⑤
	後期中間	現代文	小説 森鷗外 夏目漱石 ほか	1 明治、大正期の短・中編小説を読み、小説表現の豊かさを学ぶとともに人間や人生についての考えを深める。	○			○	○	・ 語彙を豊かにし、小説表現に即して読み味わうことができる。 ・ 小説に表れた人間や人生についての考え方について、自分の考えを持ち表現できる。
2 読んだ小説を踏まえて課題を設定し、課題に応じて進行や形態を工夫して話し合う。				○	○			○	読んだ小説を踏まえて課題を設定し、課題に応じて進行や形態を工夫して話し合うことができる。	② ③
古文		物語 『竹取物語』 『伊勢物語』 『堤中納言物語』ほか	1 物語文学のさまざまな形態について学び、歴史的な流れやそれぞれの内容等の特色をとらえる。	○			○	○	・ 物語文学のさまざまな形態について学び、歴史的な流れやそれぞれの内容等の特色をとらえている。	① ② ③ ④
			2 興味を持った作品を一つ選び、課題を設定してレポートを作成する。	○		○		○	・ 選んだ作品に関して適切に課題を設定し、調査・考察したことをレポートとしてまとめることができる。	③ ④ ⑤
後期末	現代文	小説 安部公房 井伏鱒二 ほか	1 文章を読んで、作品の寓意を読み取る。	○			○	○	・ 文章を読んで、作品の寓意を読み取ることができる。	① ② ③ ④
			2 その他の寓意小説を読み味わい、読書の幅を広げる。	○			○	○	・ その他の寓意小説を積極的に読み味わい、自分の解釈や感想についてまとめることができる。	② ③ ④